

くすのき

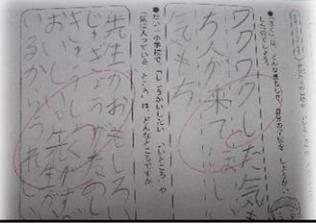


西合志第一小学校
学校だより 第22号
文責 校長 西村羊治
令和6年6月11日

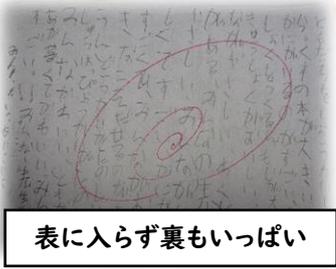
校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

成長を感じる

6月7日（金）に引き渡し訓練をしました。そのはじめに各教室にオンラインで災害の怖さや防災の大切さの動画を見たり、担当の栄教諭や校長の話の聞いたりする予定でした。私は最初動画の送信がうまくいか確認のため、1年生の教室にいました。どうも調子が悪かったので、やむなく1年生全員、2年生の教室に移動して動画を視聴することとなりました。2年担当の江住教諭が快く引き受けてくださり、1年生は2年教室の後ろに入っていき、江住教諭が、2年生に「1年生をいすに座らせたら。」と言われました。間髪入れずに、2年生のみんなが席を立て、「1年生、どうぞ、どうぞ！」とやさしい口調で自分のいすに誘うのです。それが自然な感じで2年生全員が、1年生を気持ちよく受け入れているのです。私は、その様子を見て「2年生なのにすばらしい気配りだなあ。この雰囲気はいいなあ。」と強く感じました。こんなすばらし集団を育てた江住教諭の人柄、また家庭の愛情、それを素直に自分の力にしている2年生の姿に、にやにやしている自分がいました。以前、江住教諭に2年生が授業で書いたプリントを見せてもらいました。学校の紹介文です。2年生の「学校大好き！」という気持ちが、たくさん伝わってきました。校長として嬉しい限りです。



2年生が書いた学校紹介



表に入らず裏もいっぱい

米澤教頭先生、ありがとうございました！

6月7日（金）2校時、6年生の道德の授業を米澤教頭先生がしてくださいました。主題は「自分の役割を果たす」でした。参観していて1時間があっという間に感じる、子ども達の思考や興味をそそる内容でした。



教頭先生のお辞儀は学校！



授業をする教頭先生

大谷翔平が出場した、昨年のWBC大会のイタリア戦のことを教材にされました。0対0の3回裏、強打者である大谷がヒットやホームランを狙わず、セーフティーバントをし、好機を広げ4点の先制点につなげた場面です。大谷のコメントとして、「代表の勝利より優先する自分のプライドはなかった。」と言ったとのこと。自分の成績よりもチームの勝利を優先し、チームが勝つことを迷わず選択し、自分の役割を果たしたということになるでしょう。そのことから、6年生自身が、学級のため、学校のために「果たす役割はどんなことでしょうか。」と投げかけられました。「ある男子児童は、黒板係を自分で気づいて丁寧にやっていくこと。」と自分の考えを発表しました。学級のことや人のことを考えてのすばらしい発言でした。



話し合う6年生

考え議論する道德という、今では昔の「こうしなければならない」という押しつけるような授業展開ではなく、子ども達自身が思い、考え、意見を出し合い、自分と違う考えも受け入れ、自分の固定された価値観を広げていくような授業展開となっています。6年生の子ども達は真剣に教頭先生の話の聞き、しっかり考え、お互いの考えを受け入れ、発表もたくさんしていました。米澤先生のわかりやすく流れるような授業展開に、子ども達が真剣に向き合いしっかり考え発表する姿が印象的でした。教頭業務が忙しい中での授業、本当にありがとうございました。



発表する6年生